



# 2021年10月7日『朝礼時法話～報告事項』

## 法話概略【「いい日」や「悪い日」は何故続く？】

悪い事やうまくいかない事が続くと、ついていない、運がないと自信をなくしたり、中には、祟れているのだろうか、呪われているのだろうかと不安になる人もいますね。

お釈迦さまは、『吉日良辰（きちじつりょうしん）を選ぶことなし』

と言われ、この日はいい日、悪い日という事は全く決まっていけないのだよと教えていられました。

いい事も悪い事も、続く事はよくある事です。続いたからといって何かの祟りや呪いがあるわけではありませんから、全く気にする必要はありません。

この事をよく分かって頂くために、セミナーの中でこんな実験をした事があります。

普通の6面あるサイコロを用意して、奇数が出たら吉、偶数が出たら凶だとします。

サイコロを振ると、吉(奇数)が出る確率は2分の1、凶(偶数)が出る確率も2分の1です。セミナーに参加した方に、実際にサイコロを30回ほど振って頂き、吉(奇数)が出るか凶(偶数)が出るかをやってみてもらった事があります。すると、参加者から、こんな声が上がります。

「あれ、吉が連続5回になりました。」

「凶が連続7回も出ました。このサイコロ、何か仕掛けがあるのですか？」

もちろん、サイコロには何も仕掛けはありません。どの目も平等に出るイカサマなしのサイコロです。では、なぜ吉が5回連続で出たり、凶が7回も連続で出たりする事が、あちこちで起きたのでしょうか？

確率2分の1という事が意味しているのは、奇数・偶数が同じ頻度で出る事を意味しているのではありません。1万回くらい振って、奇数・偶数の出る回数がほぼ同じに近づいていくという事なのです。奇数・偶数が交互に出るという事ではないのです。ですから、奇数・偶数が続く事はざらにあります。

このサイコロ実験からも分かるように、どっちが起きてもおかしくないような事であっても、一方が続いて起きる事はよくあります。

例えば、車を運転していると、今日はやけに赤信号に遭遇する、何だかついていない日だ！と思う事がありますが、それと同じくらい、青信号が続いてスイスイ走れた日があったはずですが、ただ、その事を忘れていただけです。

雨女とか雨男と言って、自分が出掛けると決まって雨が降ると言う人がいますが、これも同じで、自分が出掛けて晴れた日もあったはずですが、たまたま雨の日が続いて、そう思っているだけです。

人間は悪い事が続くと、そこだけが記憶に残ってしまいやすいので、“自分はツイていない”、“運が悪い”とネガティブに取ってしまいがちです。しかし、雨の日もあれば晴れの日もあるように、私たちの人生もいいタイミングに恵まれる事もあれば、悪いタイミングが続く事もあります。

雨に降られたからといって、自分は雨男だ、雨女だと自分を責めて落ち込むのは勿体ない。同じように、悪いタイミングが続いたからといって、自分は運が悪い人間なんだと落ち込まなくてもいいのです。

雨の日には雨の日にできる事、晴れの日には晴れの日にできる事、どんなタイミングにもできる種まきはあります。

『日日是好日』… どんな日も、その人の心掛けしだいで好日(すばらしい日)にする事ができるのです。

【引用文献「ほとけさまと心がほっこり温まるお話」岡本一志氏 より】

## 他の福祉施設の車両死亡事故を受けて

県内の福祉施設の車両死亡事故が発生しました。車いすのシートベルト未装着による骨折事故でしたが、数日後に、その骨折が死亡原因と断定されました。送迎時の車内の安全性の確保を再点検していきましょう。

【法話：光寿合理事長、報告事項：光寿会総括課長】